



共に向上

令和5年4月7日
岐阜市立島中学校

志をもち 共に向上する

この言葉は、島中の教育目標です。志には「目標」「信念」「気を配る心」「感謝の気持ち」など、様々な意味があります。学校は多様な個性をもつ子どもが集まる場であり、それぞれの子どもがもつ「志」も様々です。

こうした子どもの「志」を、仲間との共同生活を通して高めることが学校の役割です。本校では、自分で考え、判断し、行動できる子どもの育成に取り組むとともに、仲間と過ごすことよさを味わわせたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 辻 伸之

《学校全体にかかわる職員》	
校長 辻 伸之	非常勤講師
教頭	
教頭	
教務主任	ハートフルティーチャー
いじめ対策監・生徒指導主事	
	ハートフルサポーター
特別支援教育コーディネーター	
通級指導	学校司書
不登校コーディネーター	スクールカウンセラー
(再掲載)	スクール相談員
教育相談担当 (あすなろ教室)	
	ほほえみ相談員
養護教諭	
事務職員	スクールサポートスタッフ
学校栄養	
学校校務	

- 今年度から、学校独自に「不登校コーディネーター」を位置づけました。不登校にお悩みの方は、担当者までご連絡ください。 ☎058-232-4141
- 各学年の職員については、学級通信・学年通信をご覧ください。

○令和4年度 第76回卒業証書授与式を行いました。

令和5年3月7日(火)に、令和4年度の卒業式を行いました。今年の卒業生は、小学校6年生の時、卒業式直前の新型コロナウイルス発生による全国一斉休校で、卒業式も、そして中学校の入学式も今までに経験のない形で行われた学年です。そして、中学校生活の3年間もあらゆる活動が制限されてきました。そんな卒業生の代表として、荒井さんが語った「旅立ちの言葉」が印象的でした。

「行事なんかなくても、毎日が行事のようで、普通の休み時間でさえ、ただ一緒に生活しているだけで楽しく、普通に会話するだけでこんなに盛り上がる学年は、他にはなかったと思います。周りに気を配れる仲間がいて、一緒にやろうと声をかけてくれる仲間がいて、周りの雰囲気明るくしてくれるムードメーカーの仲間がいて、みんなを和ませてくれる仲間もいて、そんなかけがえのない大切な仲間がいたから、(この仲間となら、何だって乗り越えられる)と思うことができました。一人では、ここまで来ることができませんでした。この学年のメンバーで三年間過ごせて本当に良かったと思っています。ありがとうございました。」

逆境に負けず、強くたくましく生活してきた3年生。この魂を引き継ぎ、様々な日常活動で仲間と強い絆をつくっていきましょう。



○校舎内に防災備品を設置しました。

東日本大震災が発生してから12年目の3月11日には、各地で行われた追悼の様子がテレビで放送されていました。こうした報道を見るたびに、防災の心構えを新たにします。

そこで島中学校では、防災グッズを各昇降口、職員玄関、職員室、保健室に設置しました。これは、災害が発生した際の人員確認時に行方不明者がいた場合、捜索者の安全を確保するために使用します。倒壊している建物に、何もない状態で踏み込むのは危険です。その時に利用する物品をクリアボックスに入れて設置しました。納めてある物は、①ヘルメット2つ、②軍手2つ、③防災保温シート2組、職員室設置のボックスには、ヘッドライトを10組、単4乾電池30本が入っています。



○地域の方に支えていただける島中学校。

令和4年度には、地域の方からボランティア活動の提案をたくさんいただき、生徒が地域で活躍できる場をいただきました。そしてそのまとめ役として島中 CVS 部を立ち上げました。また、生徒の見守りをして下さる教育ボランティアも8人の方に登録していただき、あすなる教室に通う生徒たちの笑顔がたくさん見られました。令和5年度も生徒のボランティア活動に力を入れていきます。また教育ボランティアの登録も随時行っていますので、よろしくお願いします。